

八戸工業高等専門学校	開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	環境都市・建築デザイン工学 演習Ⅱ(9008)
------------	------	----------------	------	----------------------------

科目基礎情報

科目番号	0022	科目区分	専門 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	産業システム工学専攻環境都市・建築デザイン コース	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材	教員作成プリント		
担当教員	今野 恵喜		

到達目標

手法の理解と適用法の習得

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	手法が理解でき、適用もでき、さらに、広い応用へのアイディアをもてる。	手法が理解でき、適用もできる。	手法が理解できず、適用もできない。

学科の到達目標項目との関係

ディプロマポリシー DP3 ◎

教育方法等

概要	計画系のみならず、実験系においても関連する分析・評価手法を学び、それらを適用できることを目標とする。前期週2時間
授業の進め方・方法	基本を学び、可能な限り自分の専門領域からデータを収集し、手法を適用して検討する。それらを報告し合い、事例を知り、更なる適用について考える。分析レポート・発表を100%として評価（総合評価100点）し、60点以上を合格とする。レポートは採点後返却し、達成度を伝達する。
注意点	・本科で使用の教科書、ノート等を持参 ・自分の専門領域と関連づけて考えること。

授業の属性・履修上の区分

<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
-------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週 ガイダンス・計画における調査計画、調査、データの収集・整理	授業内容や到達目標が説明できる。調査の流れについて説明できる。調査票作成のポイント、標本抽出、各種調査方法について説明できる。
		2週 計画関連手法 I (傾向の推測①)	重回帰分析の理論や活用について説明できる。
		3週 データ収集	自分の専門領域を中心にデータを収集する。
		4週 分析	分析ソフトを使って分析を実行でき、結果の妥当性を判断できる。
		5週 分析結果について発表	分析結果をまとめた資料を基に発表し、質問に答え、討議ができる。
		6週 計画関連手法 II (傾向の推測②) 、データ収集	数量化理論第 I 類の理論や活用について説明できる。自分の専門領域を中心にデータを収集する。
		7週 分析	分析ソフトを使って分析を実行でき、結果の妥当性を判断できる。
		8週 分析結果について発表	分析結果をまとめた資料を基に発表し、質問に答え、討議ができる。
	2ndQ	9週 計画関連手法 III (傾向の推測③)	判別分析の理論や活用について説明できる。
		10週 データ収集	自分の専門領域を中心にデータを収集する。
		11週 分析	分析ソフトを使って分析を実行でき、結果の妥当性を判断できる。
		12週 分析結果について発表	分析結果をまとめた資料を基に発表し、質問に答え、討議ができる。
		13週 計画関連手法 IV (意思決定) 、データ収集	階層分析法の理論や活用について説明できる。自分の専門領域を中心にデータを収集する。
		14週 分析	分析ソフトを使って分析を実行でき、結果の妥当性を判断できる。
		15週 分析結果について発表	分析結果をまとめた資料を基に発表し、質問に答え、討議ができる。
		16週	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	分析レポート・発表	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0